
開講科目名：企業法会計論研究（A）（2単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：佐藤 敏昭

《授業の概要》

計算書類や事業報告など会社法上の会社情報とその監査問題を取り上げる。会社法が求める計算書類の開示や監査を概観した後（第1回～第3回）、各人から個別テーマの報告・質疑（第4回以降）によって授業を進める。

〔授業の目標〕

職業会計人にとって会社法上の会計情報提供の実務は、最も重要な基本的なものであるから、これを着実に身に着けるようにしたい。会計関係の会社法本則、会社計算規則、会社法施行規則など六法さえあれば、およその会計実務に対応でき、こなせるよう指導する。

〔授業の内容〕

第1回～第3回・・・講師による講義。

第4回・・・事業報告・前半

第5回・・・事業報告・後半

第6回・・・個別貸借対照表

第7回・・・個別損益計算書

第8回・・・個別株主資本等変動計算書

第9回・・・個別注記表

第10回・・・連結貸借対照表・連結損益計算書

第11回・・・連結株主資本等変動計算書・連結注記表

第12回・・・会計監査人の監査報告

第13回・・・監査役会の監査報告

第14回・・・総括その1

第15回・・・総括その2

〔評価方法〕

授業への取り組み姿勢を第1にする。これに出席状況や報告内容も若干加味する。したがって、授業態度の悪い者は、出席していても低評価にする。
試験やレポートは実施しない。

《テキスト》

中央経済社編「会計法規集」最新版。

《参考書》

都度、指示する。